



学校だより

3月号

令和3年2月26日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

感謝の気持ちをこめて

こうちょう かなざわ ともみ
校長 金澤 智美

朝の2棟昇降口付近では、元気なあいさつと共に、1年生がヒヤシンスやスイセンの球根に水やりをしている姿に出会います。自発的な行動のようですが、自分の植木鉢に水をかけた後に、周囲の鉢にも残りの水をかけるさりげない優しさに、早春の寒さが和らぎます。

西公園の梅の花が満開となり、本校の桜のつぼみもその形を現わしてきました。春がもうそこまできていることが感じられます。令和2年度もいよいよ最後の月を迎えます。

本校の校歌には、「のぞみ はるかに たゆまず はげむ 富士の姿を仰ぐ丘」というフレーズがあります。「環境は人をつくる」と言いますが、小高く見晴らしのよい立地にあり、広く見渡せる空と富士山の雄姿を眺めながら過ごす6年間は、心の成長にも大きな影響を与えているように感じます。コロナ禍の今年度は、「いつも通り」でない一年でした。それでも、ひとつの行事ができることに感謝し、子どもたちが互いを思いやり、笑顔でかかわりあうなど、「いつも通り」の素直で温かく穏やかな空気が校内に満ちていたことに、安堵しています。

卒業式前日の18日には、「6年生を送る会」を行います。この一年間、縦割り活動等で全校児童をリードしてきた6年生に、お世話になった下級生が感謝の気持ちを伝える会です。5年生が中心となり、テレビ放送や動画を活用し、各学年の思いをつなぐ計画を進めています。真面目で優しい6年生が、児童のリーダーとして築き上げてきた新しいスタイルと伝統は、今、5年生に引き継がれようとしています。そして、6年生を中心に全校で力を合わせてつくってきた、素直で温かく穏やかな空気が、よき校風としていつまでも続くことを期待して、教育活動の充実を目指してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、思うように学校にお越しいただくことが難しく、心苦しい一年でしたが、本校の教育活動に温かなご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。